平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経済学入門 (Introduction to Economics) 【森田クラス】			授業コード	E014951
担当教員名	森田　和子			科目ナンバリングコード	E10103
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	はじめて経済学を学ぶ学生が対象です。特別な予備知識は必要としません。				
受講心得	出席を重視します。毎回出席をとります。				
教科書	教科書は使用しません。毎回、講義ノートのプリントを配布し重要事項を書き込んでもらいます。				
参考文献及び指定図書	「キーワード経済学入門」 河村・高屋・阿部共著(嵯峨野書院) 経済学事典　長谷田彰彦編(富士書店) 「世界を変えた12人の経済学者」 ケステルス著(TBSブリタニカ)				
関連科目	日本経済事情、国際経済事情				

授業の目的	経済学を初めて学ぶ学生が、現代社会において観察される経済現象並びにその背景にある経済社会の問題を知り、経済学の理論を用いた説明を通して経済現象への体系的な見方を養うことを目的とします。
授業の概要	経済学の基礎を段階的に学んでいけるように作成したプリントにもとづいた授業です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 第1回　経済活動と経済学　　人類の歴史と経済活動　　経済学の歴史と方法 長い人類の歴史の中で経済活動はどのように発展したか	復習:プリントの見直し(1h)
第 2 週 : 第2回　経済学の世界のなりたち　　経済学の研究の歴史　　経済学の世界の「革命」 3大経済学者(スミス、マルクス、ケインズ)の生きた時代と研究内容	復習:プリントの見直し(1h)　参考書の読解(2h)
第 3 週 : 第3回　経済学の世界へ　　経済学の基本用語をおぼえよう　　市場をつうじた経済循環　　財・サービスと貨幣の交換　市場を通じた経済循環	復習:プリントの見直し(1h)　　経済学事典で経済用語を調べる(1h)
第 4 週 : 第4回　経済学の世界へ(つづき)　財の種類　　市場の競争、規模、経済成長 市場で競争がおこなわれることは経済の発展にとって非常に大切である	復習:プリントの見直し(1h)　参考書の読解(1h)
第 5 週 : 第5回　需要曲線と供給曲線　　需要曲線の導出　供給曲線の導出　需要と供給の均衡　　すべての経済活動は需要と供給でとらえることができる	復習:プリントの見直し(1h)　　参考書の読解(1h)
第 6 週 : 第6回　需要曲線・供給曲線のシフトとその原因　前回の復習　同じ価格でも需要したいと思う量が変化すると需要曲線の移動(シフト)がおきる	復習:プリントを見直し、自分で図を書いてみる(2h)
第 7 週 : 第7回　需要と供給　応用(1)　垂直な供給曲線　豊作貧乏の問題　練習問題	復習:プリンを見直し、自分で図を書いてみる(2h)

第 8 週 : 第8回　需要と供給　応用（2）　弾力的な需要曲線　非弾力的な需要曲線　垂直な需要曲線　水平な供給曲線	福種：プリントを見直し、自分で図を書いてみる（2h）
第 9 週 : 第9回　さまざまな需要と供給の事例　日本の地価　後方に屈曲する労働供給曲線　水とダイアモンド　経済学における価値論	復習：プリントを見直し、自分で図を書いてみる（1h） レポート作成「興味のある財またはサービスから1つ選び、それについての需要・供給・価格の関係を説明しレポート用紙1枚にまとめる」（1h）
第10週 : 第10回　家計の消費行動（1）予算線　予算線の導出　予算線の意味　予算線の変化	復習：プリントを見直し、自分で図を書いてみる（2h）
第11週 : 第11回　家計の消費行動（2）無差別曲線　無差別曲線とは　無差別曲線の導出　無差別曲線の3つの特徴　家計の消費均衡点	復習：プリントを見直し、自分で図を書いてみる（2h）
第12週 : 第12回　市場のしくみと政府の役割　資源配分　所得分配　経済の安定と成長 市場では解決できない問題があり、政府はどのような役割をはたしているかを理解する	復習：プリントの見直しと参考書の読解（2h）
第13週 : 第13回　マクロ経済学（1）　ミクロ経済学とマクロ経済学のちがい　主なマクロの研究領域　GDP（国内総生産）　景気循環　世界大恐慌とケインズ理論の登場	復習：プリントの見直しと参考書の読解（2h）
第14週 : 第14回　マクロ経済学（2）　マクロでみた所得・消費・貯蓄・投資　デフレスパイラル（不況の悪循環）	復習：プリントの見直しと参考書の読解（2h）
第15週 : 第15回　マクロ経済学（3）　国民所得の決定　ケインズ型消費関数　45度線図による均衡国民所得の決定	復習：プリントの見直しと45度線図を書いてみる（2h）
第16週 : 期末試験 試験は第1回から第15回までの全範囲について基礎事項に関する小問題と論述問題で構成	講義ノートのプリントを見直し、疑問点を調べておく（4h）

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考	期末試験の講評および成績分布については授業アンケート回答に記載します	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	学ぼうとする姿勢を評価します。出席を重視します。
【知識・理解】	経済学がとりあつかう基本的な内容を理解できる。上位学年で学ぶ経済学専門科目の基礎を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	用語の説明や分析を書くことができる。
【思考・判断・創造】	経済活動が社会の基礎になっていることを理解する。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	30点		20点	
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点	10点		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	20点			
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	10点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	経済学の基礎を理解し、経済用語と図を用いて答案にまとめることができたか。
発表・その他（無形成果）	出席を重視します。